

2017 FIA世界選手権シリーズ第16戦

## F1日本グランプリレース 開催概要

※企画内容は暫定企画・交渉中。

### 《開催日程》

2017年10月5日(木)~9日(月・祝)

※10月8日(日)14:00決勝スタート

### 【本日の資料】

2017年F1シリーズの展開

日本グランプリのタイムスケジュール

日本グランプリにおける取り組み

資料枚数 11ページ

2017年8月4日  
株式会社モビリティランド  
鈴鹿サーキット

F1規則が大幅に変化し、またドライバーラインナップもシャッフルされた。メルセデス一強から、メルセデスとフェラーリのチャンピオンシップ争いが白熱しており、スポーツとしての魅力が非常にアップしている。

### ■2017年 F1日本GP 開催日

2017年10月5日(木)~9日(月・祝)

### ■2017年 F1日本GPを取り巻く環境

#### ①チャンピオンシップ争いが白熱

メルセデス一強時代から、メルセデスとフェラーリの争いが見所として魅力アップ。

#### ②マクラーレン・ホンダ 復帰3年目

F1規則が大幅に変更になることから、昨年まで不調であったMcLAREN HONDAが復調すると思われていたが、現状 非常に低迷している。

#### ③10月三連休開催

昨年に引き続き、三連休開催となることで、遠方からの来場者中心に『来場しやすいスケジュール』となるものの、その他の大きな変化要素は無い。

#### ④日本人F1ドライバーは不在

引き続き、F1参戦する日本人ドライバーは不在となる。

#### ⑤決勝時間

昨年同様、土曜予選 15:00スタート ／ 日曜決勝 14:00スタート

昨年のメルセデス一強から、フェラーリとメルセデスの激しいチャンピオンシップ争いが展開。ドライバーランキングでは、フェラーリのベッテル選手がメルセデス勢に対してリード。

ドライバーランキング チームランキング

順位	ドライバー	計	AUS	CHN	BRN	RUS	ESP	MON	CAN	AZE	AUT	GER	HUN
1	ベッテル	202	25	18	25	18	18	25	12	12	12	18	6
2	ハミルトン	188	18	25	18	12	25	6	25	10	12	25	12
3	ボッタス	169	15	8	15	25	0	12	18	18	25	18	15
4	リカルド	117	0	12	10	0	15	15	15	25	15	10	0
5	ライコネン	116	12	10	12	15	0	18	6	0	10	15	18
6	フェルスタッペン	67	10	15	0	10	0	10	0	0	0	12	10
7	ペレス	56	6	2	6	8	12	0	10	0	6	2	4
8	オコン	45	1	1	1	6	10	0	8	8	4	4	2
9	サインツ	35	4	6	0	1	6	8	0	4	0	0	6
10	ヒュルケンベルグ	26	0	0	2	4	8	0	4	0	0	8	0
11	マッサ	23	8	0	8	2	0	2	0	0	2	1	-
12	ストロール	18	0	0	0	0	0	0	2	15	1	0	0
13	グロージャン	18	0	0	4	0	1	4	1	0	8	0	0
14	マグヌッセン	11	0	4	0	0	0	1	0	6	0	0	0
15	アロンソ	10	0	0	0	0	0	0	-	0	2	0	0
16	ウェーレイン	5	-	-	0	0	4	0	0	1	0	0	0
17	クビアト	4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
18	バンドーン	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
19	バーマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	エリクソン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	ジョビナツィ	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	バトン	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
23	ディレスタ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

順位	チーム	計
1	メルセデスAMG	357
2	フェラーリ	318
3	レッドブル	184
4	フォース・インディア	101
5	ウイリアムズ	41
6	トロ・ロッソ	39
7	ハース	29
8	ルノー	26
9	マクラーレン	11
10	ザウバー	5

F1日本GPにおけるイベントの考え方

4/11

THE 1 AND ONLY

SUZUKA 2 ● 17 GRAND PRIX

伊藤潤一氏による作品です。  
(三重県出身の書家)

29回目の開催となる鈴鹿サーキットでの日本グランプリは、昨年に引き続き「THE 1 AND ONLY」をテーマに、独創的なレイアウトのコースが生み出すドラマチックなレース展開、鈴鹿ならではのイベントへの驚き、地域の皆様と一緒にしたおもてなし、そして、会場全体がひとつになって盛り上がることのできる観戦環境をご用意し、鈴鹿サーキットだけで体感できる数々の感動が紡ぎだすF1シリーズの中でも特別なグランプリとして、世界中のファンからより一層愛される“SUZUKA”の実現に取り組んで参ります。

1. F1日本GP価値向上に繋がるイベントコンテンツの実現
2. レジェンドコンテンツを核としたF1ブーム体験層の呼び戻し実現
3. 将来のF1ファン化に繋がるファミリーに対する企画の充実

【海外来場者の拡大】

英語・繁體中文ホームページの充実に加えて、英語実況や免税店設置など、海外の来場者がより日本GPを楽しんでいただける取り組みを拡大することで、海外の方にとっても「THE 1 AND ONLY」な日本GPを作り上げます。

### ■F1日本GP価値向上に繋がるイベントコンテンツの実現

今まで権利や交渉における障壁のために実施できなかったコンテンツを再度見直し、  
“F1ファンがもっともドライバー＆マシンに近づくグランプリ”を実現する。

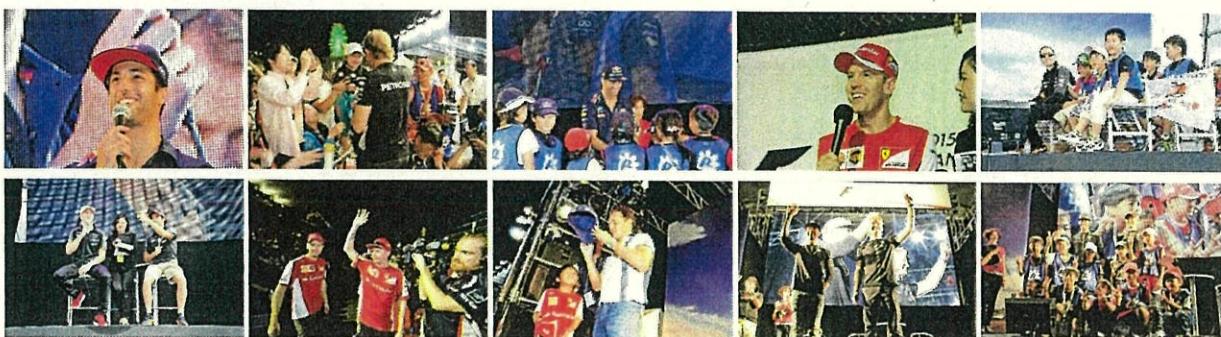
#### イベントコンテンツ

##### ①F1ドライバーとお子様が触れ合えるコンテンツの実現

F1ドライバーが出演するコンテンツにおいて、お子様と一緒に登場するシーンを作り、ファンとの近さを発信することで、ファミリー来場の拡大訴求と世界発信のコンテンツとして活用する。

##### 【すでに協力を表明しているチーム・ドライバー】

全チームが協力を表明済み。



#### イベントコンテンツ

##### ②土曜夜におけるピットウォークの実現

“もっともドライバー＆マシンに近づく”コンテンツの象徴として、木曜ピットウォーク以外において今まで実現しえなかつた一般来場者に向けたピットウォークを実現する。

##### 【概要】

名称:史上初“もっともマシンに近づく”ナイトピットウォーク

日時:10月7日(土)19:00-20:00 ※前夜祭トーキイベント終了後

翌日の決勝に向けて整備が行なわれるFormula1のマシンたちを間近で見ることが出来るナイトピットウォーク＆ホームストレートウォークを鈴鹿F1日本GP史上初めて土曜夜に開催！“もっともマシンに近づく”瞬間をお楽しみください。

(参考)8耐におけるナイトピットウォーク



##### 【注意事項】

**本企画は、現状まだ確定ではありません。**過去は絶対にあり得なかった企画ですが、F1統括団体のメンバーが変更したこと、このような新たな取り組みが実現するチャンスがあります。引き続き、実現に向けて交渉を行なっておりますので、確定し次第、再度ご案内させていただきます。

## イベントコンテンツ

## ③スタートセレモニーとゴール演出の改革

今までに無いドライバー、マシン、チーム、そして観客が一体となったスタートセレモニー＆ゴール演出の実現を目指す。

## 【企画のポイント】

## 1. スタートセレモニー

- 12:30-13:00 ドライバーズパレード
- 13:00-13:30 レジェンドF1デモンストレーションラン
- 13:30- 全マシンがグリッドへの試走
- 13:45- 全ドライバーがグリッド先端に立ち、国歌斉唱  
国歌斉唱に合わせて、**自衛隊機フライ**



## 2. ゴールセレモニー

ゴール時の演出として、観客全員によるチェックカーフラッグでの盛り上げ。  
例年取り組んでいるファミリーシートに加えて、  
グランドスタンド(V1 & V2席)のお客様も  
表彰時にストレート入場していただく。



## 【注意事項】

**自衛隊機フライ**は、現状まだ確定ではありません。

## 2. レジェンドコンテンツを核としたF1ブーム体験層の呼び戻し実現

## ■レジェンドコンテンツを核としたF1ブーム体験層の呼び戻し実現

F1参戦40周年を迎えるウィリアムズと連携し、ゲスト・マシン・関係者をウィークで活用することで、F1  
ブーム体験層の囲い込みを行なう。

## イベントコンテンツ

## ①ウイリアムズ レジェンドゲスト＆レジェンドマシン

## ■レジェンドゲスト

D・ヒル氏：1996年ウイリアムズチームにて、ドライバーズチャンピオンを獲得



## ■レジェンドマシン(①②は日本初登場)

## ①Williams FW04(フォード・コスワース)

⇒1975年／ウィリアムズ黎明期のマシン。

## ②Williams FW08(フォード・コスワース)

⇒1982年／K・ロズベルグ ドライバータイトル獲得マシン

## ③Williams FW09(ホンダ)

⇒1984年／ホンダ第2期初優勝を飾ったマシン

## ④Williams FW11(ホンダ)

⇒1986年／ホンダ初のコンストラクターズチャンピオンに輝いたマシン



■将来のF1ファン化に繋がるファミリーに対する企画の充実

参加人数と応援スタイルの雰囲気作りに拘ったお子さま参加イベントや関連イベントを展開することで、将来のF1ファン化に繋げる。

イベントコンテンツ

①土曜夕方におけるF1キッズピットウォークの実現

“もっともドライバー＆マシンに近づくグランプリ”のもう一つの象徴イベントとして、小学生以下の子様を連れたファミリーを対象にしたF1キッズピットウォークを土曜夕方に開催。F1ドライバーにもアピアランスを依頼することで、ファミリーにとって価値が高いコンテンツを実現する。

【概要】

名称：史上初“お子さまがもっともマシンに近づく”F1キッズピットウォーク

日時：10月7日(土)17:15-17:45 ※ボルシェ終了後、前夜祭トーク前

ファミリー限定のピットウォークを鈴鹿F1日本GP史上初めて土曜夕方に開催！“もっともマシンに近づく”瞬間をお楽しみに！ドライバーにも会える？

(参考)

木曜におけるキッズピットウォーク



【注意事項】

**本企画は、現状まだ確定ではありません。**過去は絶対にあり得なかった企画ですが、F1統括団体のメンバーが変更したこと、このような新たな取り組みが実現するチャンスがあります。引き続き、実現に向けて交渉を行なっておりますので、確定し次第、再度ご案内させていただきます。

鈴鹿市民応援席

10/11

より多くの鈴鹿市民の皆さんに、F1日本GPをご覧いただき、F1の生の迫力・魅力を感じていただくために、昨年に引き続き、『鈴鹿市民応援席』を設定させていただいております。

■『鈴鹿市民応援席』販売内容

C席(大人) 特別価格20,600円

C席(子ども) 特別価格 4,200円

■『鈴鹿市民応援席』販売期間

2017年9月22日(金)まで。※先着1,000名

合わせて、今年よりふるさと納税のお礼品としても  
F1日本GP観戦チケットを設定していただいております。

現時点での今年のF1日本GPの来場者数は、下記の通り、見込んでおります。  
今後の状況で変化してまいります点、予めご了承ください。

## ■F1日本GP 来場者数(5日間合計)

2016年 実績 162,000名

2017年 見込 162,000名